

高校生を対象とした「自転車交通安全教室」が実施されました

5月28日（水）、高知県警察本部、高知南警察署、高知県教育委員会のご協力を頂き、高校生を対象とした自転車交通安全教室が本校グラウンドで行われました。

今回は、スケアード・ストレイト教育技法（注）による自転車交通安全教室を通じて、自転車の利用機会が多い高校生の危険予測能力を高めるとともに、交通社会での基本的なルール・マナー、交通社会の一員としての周りへの気遣いや他者への思いやりなどの社会性を一層高めることにより、交通安全意識の醸成を図ることを目的として行われました。

自動車が時速40kmで自転車と衝突する実験や、飛び出し自転車がオートバイと衝突する実験など、実際の交通事故の現場を再現したスーパードライバーズのスタントマンの方々の実演は、本当に目の前で事故が起こっているかのように、間近で見学した生徒たちは、事故の恐ろしさを実感し、交通ルールを守ることの大切さをより一層強く感じました。

また、高知県警察本部県民支援相談課の方が朗読してくださった手記からは、事故で息子を亡くされた遺族の方の深い悲しみが伝わってきて、命の重さ、大切さを改めて考えさせられました。

高知県警察本部、高知南警察署、高知県教育委員会、そしてスーパードライバーズの皆さま、ありがとうございました。

（注）スケアード・ストレイト教育技法とは、危険を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育技法。



